

平成 17 年度 技術部技術講習会報告
「電子プローブマイクロアナライザー(EPMA)・面分析方法の習得」

機器分析グループ 中村昇二

はじめに

平成 17 年度技術部の予算を頂き、標記講習会を開催したのでここに報告する。内容は、日常において著者が管理する電子プローブマイクロアナライザー（以下、EPMA という）を使用し、面分析技術の取得をテーマに開催した。

講習内容

EPMA は、電子線を試料 に照射し、ミクロン領域の元素分析や二次電子像観察が可能な装置である。本装置は、金属、無機、有機材料の分析、生体、生物組織の分析に広く利用できる。講習会では、本装置の原理、構造、仕様などの説明とアプリケーションソフトである面分析プログラムを用いて実際に試料（Sn-Pb 合金）の分析をおこない技術の習得を行った。

実施日時：平成 18 年 1 月 27 日（金） 13 時 30 分～16 時

講習内容：

1. 講義

- (1)EPMA とは
- (2)装置の原理
- (3)装置の構造
- (4)装置の仕様
- (5)分析方法の一例
- (6)分析結果の一例

2. 実習

- (1)試料準備
- (2)電子プローブ発生と鏡筒軸合せ
- (3)ピークサーチ
- (4)面分析
- (5)データ処理
- (6)データ保存

講習会場：創造開発研究センター・特別機器室（EPMA 室）



講習会風景